

時間割

※座席は**指定**となります。
 ※休憩時間は**10分**、昼休みは1時間**(12:10～13:10)**です。

【選択必修領域講習】講習名:⑥幼稚園を巡る近年の状況変化と幼稚園教育（板橋キャンパス）

月日	時限	時限	タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/7 (水)	1限	9:00～10:30	幼児の主体的・対話的で深い学びと教師の関わり	現行の幼稚園教育要領では、「幼児の主体的・対話的で深い学び」という言葉が導入されました。しかし、この概念は曖昧です。この授業では、この概念が導入された経緯を説明し、幼児にとっての「主体的」「対話」「深い学び」とはどのようなことを考えます。その上で、この概念に沿った保育実践の在り方について考えます。	榎沢良彦	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅰ) -意欲的な子どもを育む保育のあり方	教師はだれもが意欲的で健やかな子どもの育ちを願って日々保育に取り組んでいる。しかし、園によってその実践にはかなりの幅があり、特色がある。本講では、いくつかの園の実践を紹介しながら、意欲的で健やかな子どもを育てるための保育のあり方・保育者のあり方などについて多面的に検討し、受講者それぞれが複眼的視点から子どもや保育を捉えられることを目指す。	鈴木隆	講義	筆記試験	特になし
	3限	13:10～14:40	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅱ) -園内研修	研修は教員の義務として教育基本法にも位置づけられているものである。とりわけ幼稚園においては、遊びを中心とした保育が展開されるため、園内の教員が園のすべての幼児の育ちを理解し、チームで保育にあたっていくことが必要とされる。また、近年は子どもの育ちが多様化し、保護者の価値観も複雑になってきている。これらの状況を踏まえながら園内研修の重要性を再確認し、園全体で幼児の育ちを支えるための研修の在り方を検討する。	柿沼芳枝	講義	筆記試験	特になし
	4限	14:50～16:20	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅲ) -園の国際化	教育の国際化が急速に進む今日、幼稚園も例外ではなくなりつつある。例えば、幼稚園を巡る近年の状況として、外国にルーツをもつ子どもたちが一緒に学び日々の園生活を送るようになってきたことがあげられる。そこでは、言葉、生活習慣、子育て観などの文化の違いから、さまざまな問題が顕在化している。この科目では、幼稚園の国際化への対応について考えていく。	渡部晃正	講義	筆記試験	特になし

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

***講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**